

2018年3月期

第1四半期決算説明資料

2017年8月3日

株式会社 **ダイセル**

目 次

業績概要	P 3 ~ P 4
セグメント情報	P 5 ~ P 9
株主還元	P 10
参考資料	P 11 ~ P 13

(単位：億円)

	2017年3月期 第1四半期	2018年3月期 第1四半期	増減	増減率
売上高	1,037	1,123	+86	+8.3%
営業利益	172	158	△14	△8.2%
経常利益	160	166	+6	+3.9%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	106	91	△15	△13.7%
為替レート(USD/JPY)	108 円	111 円		

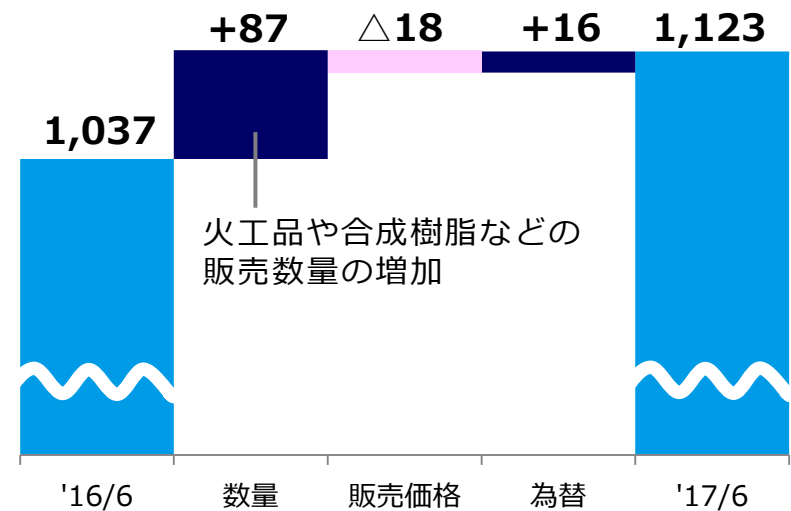
- 火工品や合成樹脂の販売数量が増加したことなどにより、増収。
- 営業利益は、原燃料調達価格の上昇や減価償却費の増加などにより、減益。

連結損益計算書

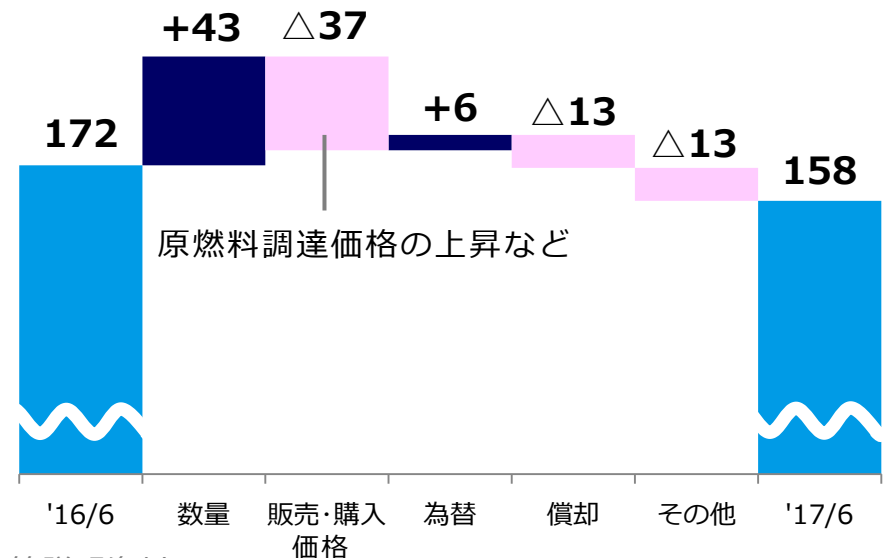
(単位：億円)

	2017年3月期 第1四半期	2018年3月期 第1四半期	増減	増減率
売上高	1,037	1,123	+86	+8.3%
売上総利益	343	348	+5	+1.5%
販売費及び 一般管理費	171	190	+19	+11.2%
営業利益	172	158	△14	△8.2%
営業外損益	△12	8	+20	—
経常利益	160	166	+6	+3.9%
特別損益	2	△2	△3	—
税金等調整前 四半期純利益	161	164	+3	+1.9%
法人税等	37	55	+18	+49.9%
非支配株主に帰属する 四半期純利益	19	18	△1	△4.1%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	106	91	△15	△13.7%
為替レート(USD/JPY)	108 円	111 円		

■ 売上高 前年同期比較



■ 営業利益 前年同期比較

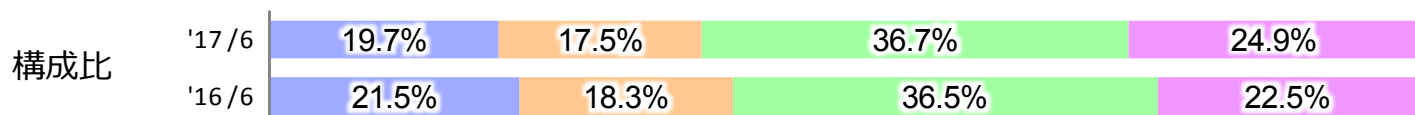


セグメント別 売上高・営業利益分析

■売上高

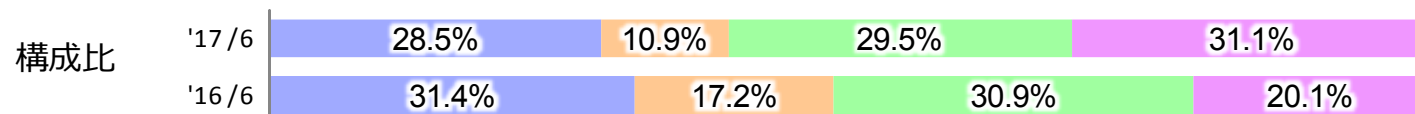
(単位：億円)

	2017年3月期 第1四半期	2018年3月期 第1四半期	増減	増減率	分 析	
					数量差	単価差
セルロース	223	221	△2	△0.7%	+7	△9
有機合成	190	196	+6	+3.3%	0	+6
合成樹脂	379	412	+33	+8.8%	+30	+3
火工品	233	280	+48	+20.4%	+49	△1
その他	13	13	+0	+3.7%	0	-
合 計	1,037	1,123	+86	+8.3%	+87	△2



■営業利益

	2017年3月期 第1四半期	2018年3月期 第1四半期	増減	増減率	分 析		
					数量影響	価格影響	その他
セルロース	64	55	△9	△13.9%	+1	△11	+1
有機合成	35	21	△14	△39.4%	0	△4	△10
合成樹脂	63	57	△6	△8.7%	+14	△14	△6
火工品	41	60	+19	+47.6%	+28	△2	△6
その他	1	0	△1	△73.9%	△1	0	0
全 社	△32	△36	△5	△14.9%	0	0	△5
合 計	172	158	△14	△8.2%	+43	△31	△26



売上高 △ 2 億円 (為替影響 + 4 億円)

◆酢酸セルロース：

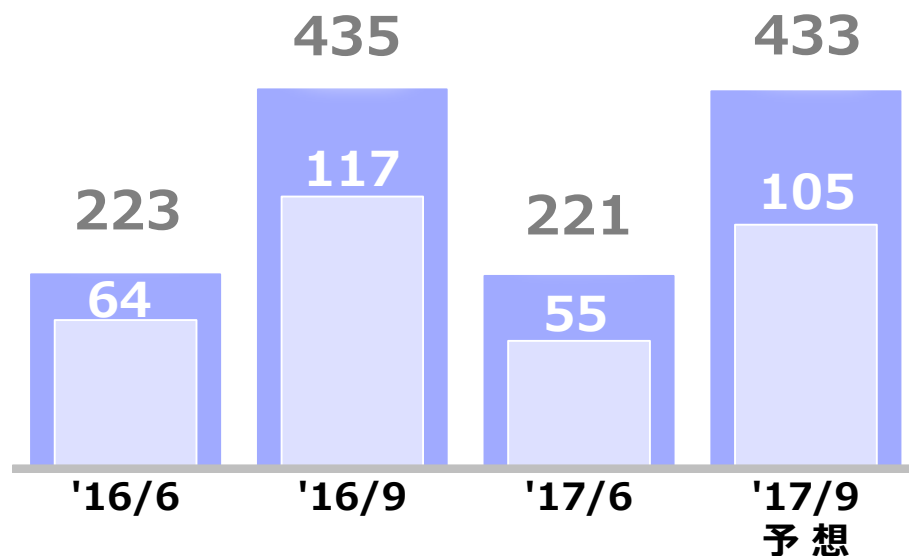
液晶表示向けフィルム用途が微減となったものの、その他用途が増加したことなどにより、増収。

◆たばこフィルター用トウ：

販売数量はほぼ横這いとなったものの、市況軟化の影響を受けたことにより、減収。

営業利益 △ 9 億円

たばこフィルター用トウが市況軟化の影響を受けたことなどにより、減益。



売上高 + 6 億円 (為替影響 + 1 億円)

◆酢酸：

網干工場で2年に1度の定期修繕を実施したことにより販売数量が減少したものの、市況の上昇などもあり、微減収。

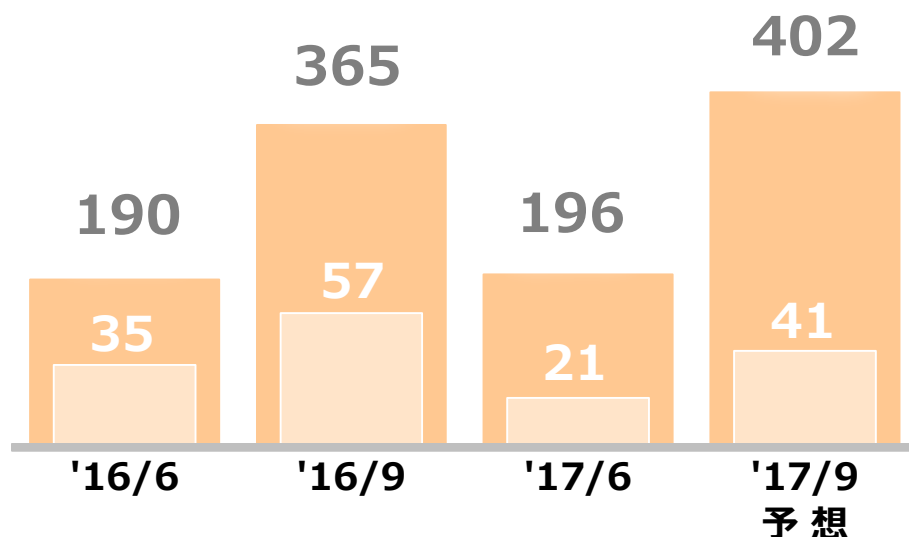
◆合成品：販売数量の増加などにより、増収。

◆機能品：電子材料分野への販売数量が増加したことなどにより、増収。

◆キラル分離事業：受託分離の受注が増加したものの、充填剤の販売が減少したことなどにより、横這い。

営業利益 △ 14 億円

原燃料調達価格の上昇や、研究開発費、減価償却費の増加などにより、減益。



売上高 + 33 億円 (為替影響 + 6 億円)

◆エンジニアリングプラスチック事業：

自動車生産が好調に推移したことなどにより販売数量が増加し、増収。

◆樹脂コンパウンド事業：

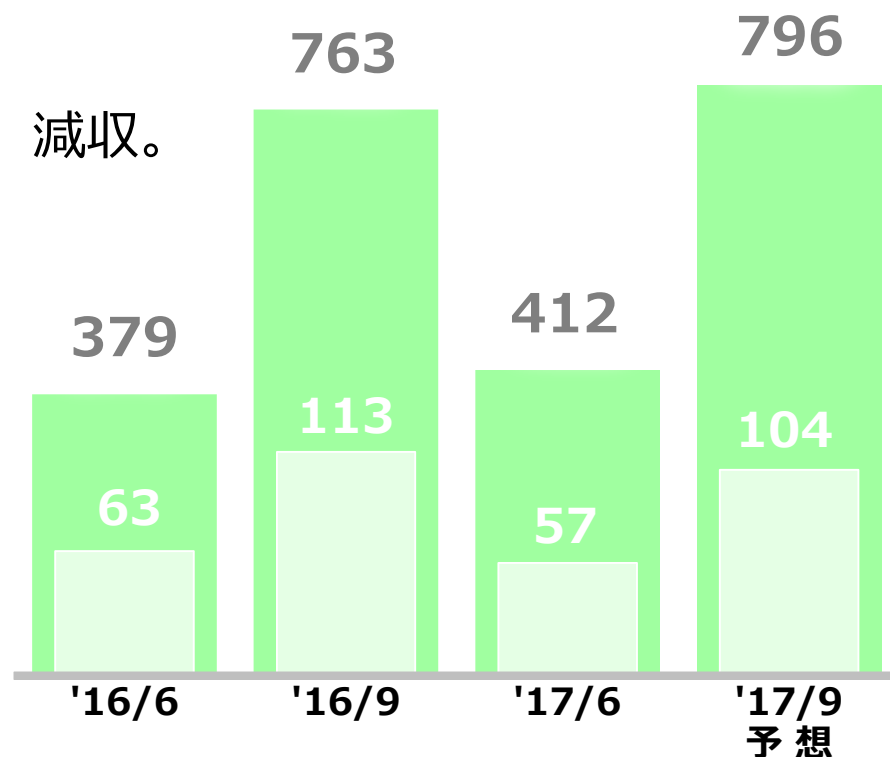
海外向けの販売数量が増加したことなどにより、増収。

◆樹脂加工事業：

シートの販売が減少したことにより、減収。

営業利益 △ 6 億円

販売数量が増加したものの、原燃料調達価格の上昇などにより、減益。



売上高 + 48 億円 (為替影響 + 5 億円)

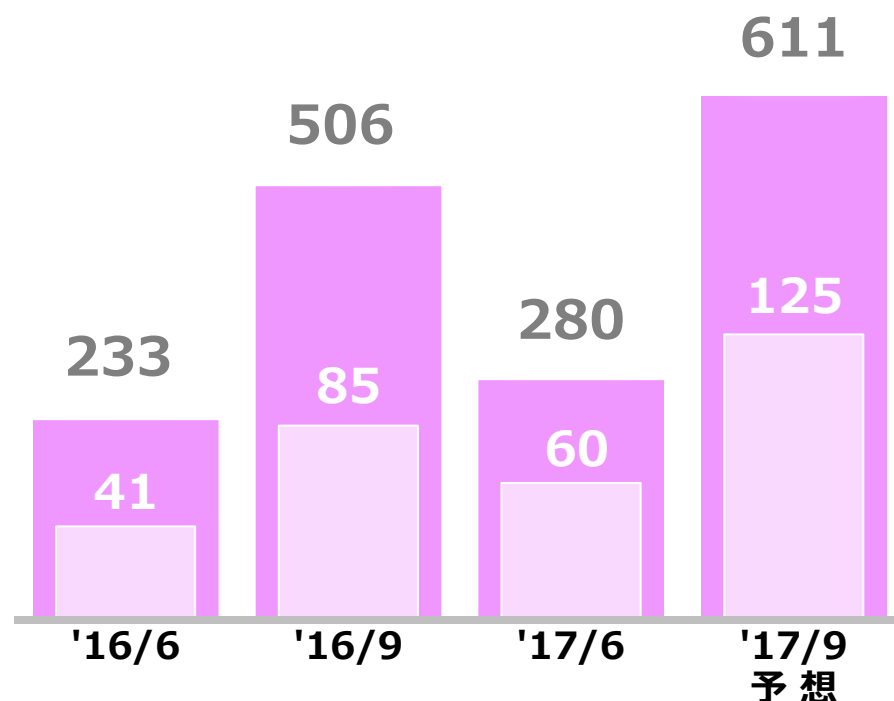
◆自動車安全部品事業：

インフレータの販売数量増加などにより、増収。

◆特機事業：減収。

営業利益 + 19 億円

販売数量の増加などにより、増益。



100億円、750万株の自己株式取得を決定

(取得期間：2017年8月～2018年3月)

2018年3月期配当予想 (2017年5月10日発表から変更なし)

年間配当：1株につき32円 (中間配当：16円)

※ 当期の配当性向は約30%となる見通し

※ 中期計画3 D-Ⅲでの目標：配当性向 30%以上

※ 配当性向の見通しは、5月10日発表の業績予想から算出

参考資料

連結貸借対照表

(単位：億円)

	2017年 3月末	2017年 6月末	増減	備考
流動資産	3,072	3,064	△8	
現預金及び有価証券	969	978	+9	
受取手形及び売掛金	883	845	△39	
棚卸資産	1,007	1,037	+30	
その他	213	205	△9	
固定資産	2,925	2,942	+17	
有形固定資産	1,852	1,857	+5	取得+76、償却△72、為替換算差+4、その他△2
無形固定資産	96	96	△0	
投資その他資産	977	990	+13	投資有価証券+19
資産合計	5,997	6,007	+9	
負債	2,003	2,012	+9	
有利子負債	723	761	+38	有利子負債比率 12.7%
その他	1,280	1,251	△29	
純資産	3,994	3,995	+0	自己資本比率 62.3%
負債純資産 合計	5,997	6,007	+9	

2018年3月期 セグメント別業績見通し

注：5月10日発表値。第1四半期決算時点での見直しは行っておりません。

(単位：億円)

	2017年3月期実績			2018年3月期見通し			年間 増減
	上期	下期	合計	上期	下期	合計	
売上高	2,098	2,303	4,401	2,275	2,325	4,600	+199
セルロース	435	460	895	433	464	897	+2
有機合成	365	397	762	402	418	820	+58
合成樹脂	763	806	1,569	796	804	1,600	+31
火工品	506	606	1,112	611	604	1,215	+103
その他	29	34	62	33	35	68	+6
営業利益	306	337	643	305	305	610	△33
セルロース	117	113	230	105	102	207	△23
有機合成	57	58	115	41	49	90	△25
合成樹脂	113	103	216	104	96	200	△16
火工品	85	128	213	125	120	245	+32
その他	3	4	7	3	5	8	+1
全社	△68	△70	△138	△73	△67	△140	△2
経常利益	295	367	662	310	310	620	△42
親会社株主に帰属する 当期純利益	191	241	432	180	190	370	△62
為替レート (USD/JPY)	105 円	111 円	109 円	110 円	110 円	110 円	

※予想前提条件：為替レート110円/\$、メタノール\$300、原油\$55、国産ナフサ42,000円

予測に関する注意事項

- 本資料は情報の提供を目的としており、本資料による何らかの行動を勧誘するものではありません。本資料（業績計画を含む）は、現時点で入手可能な信頼できる情報に基づいて当社が作成したものでありますが、リスクや不確実性を含んでおり、当社はその正確性・完全性に関する責任を負いません。
- ご使用に際しては、ご自身の判断にてお願いいたします。本資料に記載されている見通しや目標数値等に全面的に依存して投資判断を下すことによって生じ得るいかなる損失に関しても、当社は責任を負いません。

本資料の著作権は株式会社ダイセルに帰属します。いかなる理由によっても、当社に許可無く資料を複製・配布することを禁じます。

株式会社ダイセル

